

# クローバープログラムを実施 〈大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラム）〉

「レンズが見つめた命の現場 ～もうひとつのスーダン～」

2010年10月15日(金) 18:30～21:30

写真家の内藤順司氏をお招きし、「レンズが見つめた命の現場～もうひとつのスーダン～」と題した講演会が、呉キャンパスで開催されました。当日は、学内外の方、約80名が参加されました。

講演では、スーダンで医療活動を行う日本人医師、川原尚行氏の活動を通して、命の大切さ、医療・福祉の仕事に携わる意味について考え、今我々に何ができるのかなど写真を映し出しながら参加者に力強く訴えられました。最後には、写真の映像とともに、さだまささんが歌う「風に立つライオン」が流され、感動的な余韻を残し終了となりました。



「笑いをシェア 英語落語 - 笑笑(らふらふ) 亭寄席」

2010年10月30日(土) 13:00～15:00

関西の英語教育界で、英語力を楽しく養成する講座として注目を集めている英語落語。笑いを通して、地域住民との交流を深めるため、「笑いをシェア 英語落語 - 笑笑(らふらふ) 亭寄席」を呉キャンパスで開催しました。参加者延べ80名は真剣な眼差しで聴講し、会場は終始、笑いの渦にまつまれました。



## 金曜ゆめ倶楽部で「干し柿教室」を開催



昨年に引き続き、10月9日(土)、東広島キャンパスの大学構内学生寮北側の西条柿「柿園」にて、NPO 法人七塚原自然体験活動研究センター理事長の西村清巳先生を講師にお招きして、おいしい干し柿作りを体験できる「干し柿教室」を開催しました。

当日は、天候があいにくの雨にもかかわらず、学生・教職員を合わせて17名が参加し、皮を剥いて、紐に吊るし、熱湯に浸す工程を学生・教職員とでコミュニケーションを取りながら行い、りっぱな干し柿が出来上がりました。今年の柿の実は小粒ではありましたが、2週間くらいで甘くて美味しい干し柿をいただくことが出来ました。



## 学長表彰

受賞	受賞者	表彰理由
課外活動賞	硬式庭球部	平成21年度広島県学生庭球王座女子1部において準優勝したため
	バドミントン部	第39回広島県学生バドミントン大会女子ダブルスにおいて3位に入賞したため
	弓道部	第22回全国大学弓道選抜大会(女子団体戦)に出場したため
	柔道部	第56回中国四国学生柔道優勝大会(男子団体戦)1部において3位に入賞したため 第59回全日本学生柔道優勝大会(男子団体戦)に出場したため
	弓道部	第36回広島県学生弓道連盟男女リーグ戦女子団体において3位に入賞したため
	硬式庭球部 栗原 和也 【R科 1年次】	平成22年度広島県学生庭球選手権男子ダブルスにおいて3位に入賞したため
	柔道部 武田賢太郎 【S科 4年次】	平成22年度中国四国学生柔道体重別選手権大会(男子29回)100kg級において優勝したため
	柔道部 鈴木 将太 【S科 4年次】	平成22年度全日本学生柔道体重別選手権大会(男子29回)100kg級に出場したため 平成22年度中国四国学生柔道体重別選手権大会(男子29回)100kg超級において2位に入賞したため
	山崎由太郎 【Y科 4年次】	平成22年度全日本学生柔道体重別選手権大会(男子29回)100kg超級に出場したため 第63回全日本アマチュア名人戦全国大会において優勝したため

## 看護学科「国際看護(海外研修)」がオーストラリアの地元新聞に掲載されました!

看護学科2年次(9名)と3年次(2名)の計11名が、2010年9月4日(土)から9月19日(日)の期間、オーストラリアにあるモナッシュ大学で海外研修を行いました。

この海外研修は、海外の看護・保健・医療事情を現地での講義と体験学習から学び、文化的、社会的背景を踏まえて理解することを目的としており、毎年開催されています。

研修中は、一人ひとりホームステイ先に滞在し、オーストラリアの文化や社会について、たくさん学ぶことができ、とても有意義な海外研修となりました。

また、アボリジニー(原住民)の健康について学ぶため、モナッシュ大学のGippslandキャンパスを訪問した際に、本学の海外研修の内容が地元メルボルンの新聞に写真入りで紹介されました!!

